

高根沢町国民健康保険  
第2期データヘルス計画  
【ダイジェスト版】



平成30年3月

# 1. データヘルス計画の概要

データヘルス計画とは、国民健康保険加入者の健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指し、レセプト（診療報酬明細書）や特定健康診査などから得られるデータ分析に基づき、加入者の健康状態に即したより効果的な保健事業を行うための実施計画です。この計画の期間は、平成30年度から平成35年度までの6年間とします。

## 2. 高根沢町の現状

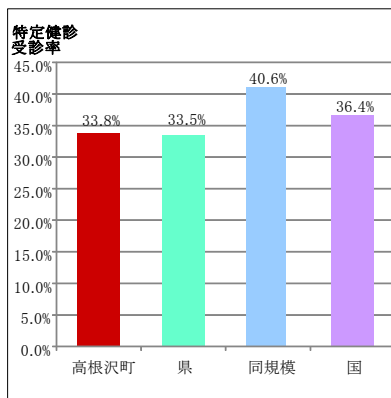
### (1) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

#### ① 特定健診受診率の状況

本町の平成28年度における、40～74歳の特定健康診査の受診率は、県・国に比べて受診率は高いですが、同規模に比べて低いです。

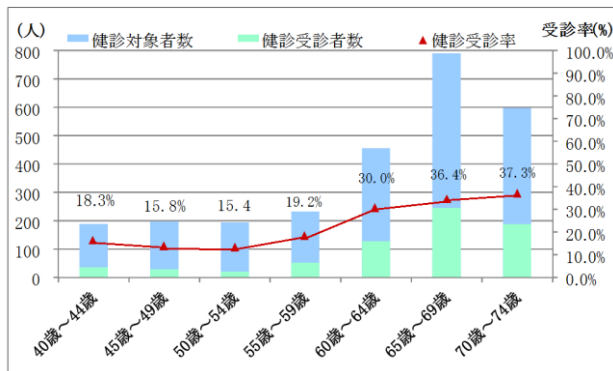
男女別・年齢階層別の受診率では、女性に比べ、男性の受診率が低い傾向です。また特に男女ともに40歳・50歳代の受診率が低い状況です。

特定健康診査受診状況 (H28年度)

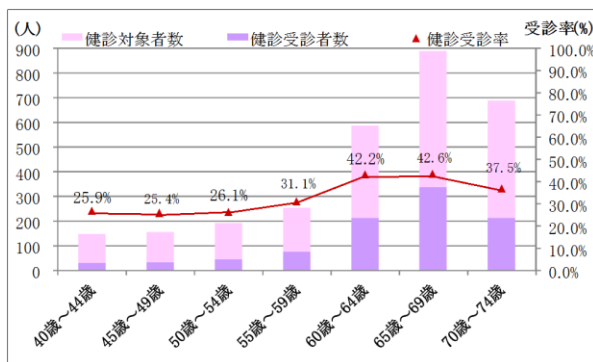


※国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」より

(男性)年齢別特定健康診査受診率(H28年度)



(女性)年齢別特定健康診査受診率(H28年度)



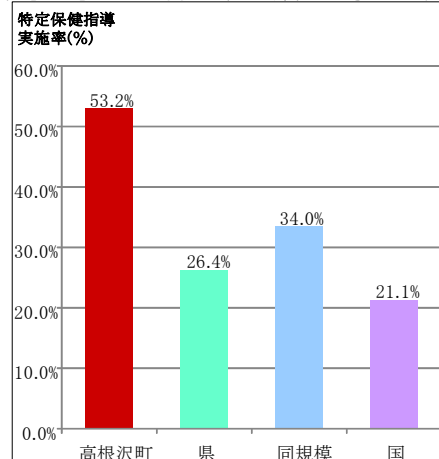
出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

#### ② 特定保健指導実施率の状況 (平成28年度)

特定保健指導実施率は、53.2%です。

県・同規模・国と比較して高いです。

健診受診者に対する特定保健指導実施率(H28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## (2)医療費の状況

平成28年4月から平成29年3月診療分（12ヶ月分）の医科・調剤レセプトの分析結果をまとめました。

### ①大分類による疾病別医療費

医療費分析の結果、大分類では、循環器系・内分泌、栄養及び代謝疾患が上位を占めていました。

医療費総計の高い疾病	構成比 (%)
1位 循環器系の疾患	17.9
2位 新生物	14.5
3位 内分泌、栄養及び代謝疾患	11.1

患者数の多い疾病	年間延べ人数(人)
1位 呼吸器系の疾患	3,361
2位 消化器系の疾患	3,357
3位 内分泌、栄養及び代謝疾患	3,107

### ②中分類による疾病別医療費

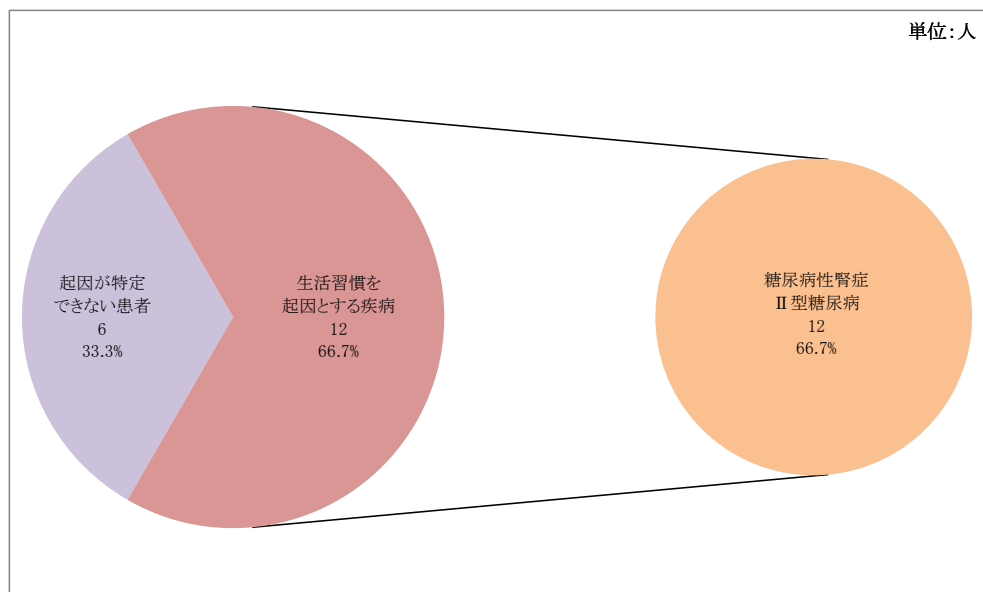
中分類では、高血圧・糖尿病・腎不全が上位を占めていました。生活習慣病への対策が課題です。

医療費総計の高い疾病	構成比 (%)
1位 高血圧性疾患	6.2
2位 糖尿病	5.9
3位 腎不全	4.2

患者数の多い疾病	年間延べ人数(人)
1位 高血圧性疾患	2,174
2位 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,055
3位 その他の消化器系の疾患	2,024

### ③人工透析患者の実態

人工透析患者18名のうち、生活習慣を起因とする疾病から人工透析に至った患者が12名で、全員Ⅱ型糖尿病が起因でした。

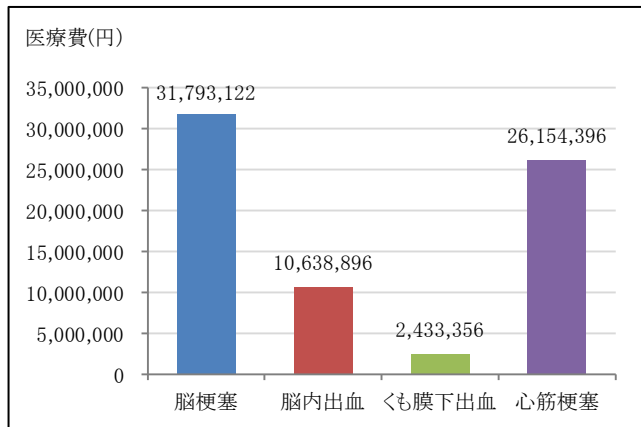


1型糖尿病：自分の体の中でインスリン（血糖値を下げるホルモン）を作れなくなってしまう、自己免疫疾患です。  
2型糖尿病：主に生活習慣の悪化により、インスリンが不足したり、効きが悪くなって発症します。

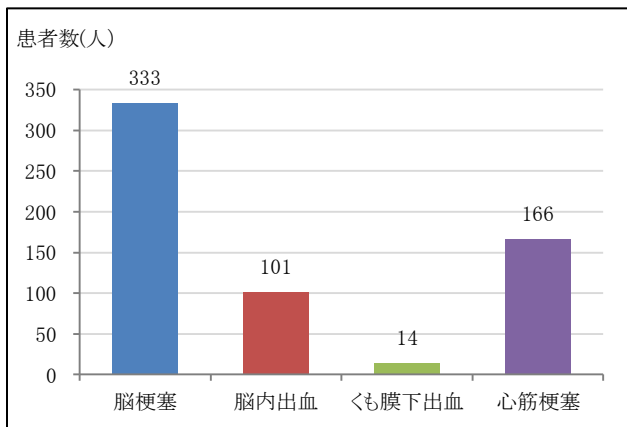
#### ④脳卒中・心筋梗塞の患者の実態

脳卒中（脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血）の医療費は4,487万円、患者は448名、心筋梗塞の医療費は2,615万円、患者は166名でした。死亡率及び再発率が高いことから、発症予防と再発予防の取り組みが必要です。

脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における医療費



脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における患者数



#### ⑤医療機関受診状況

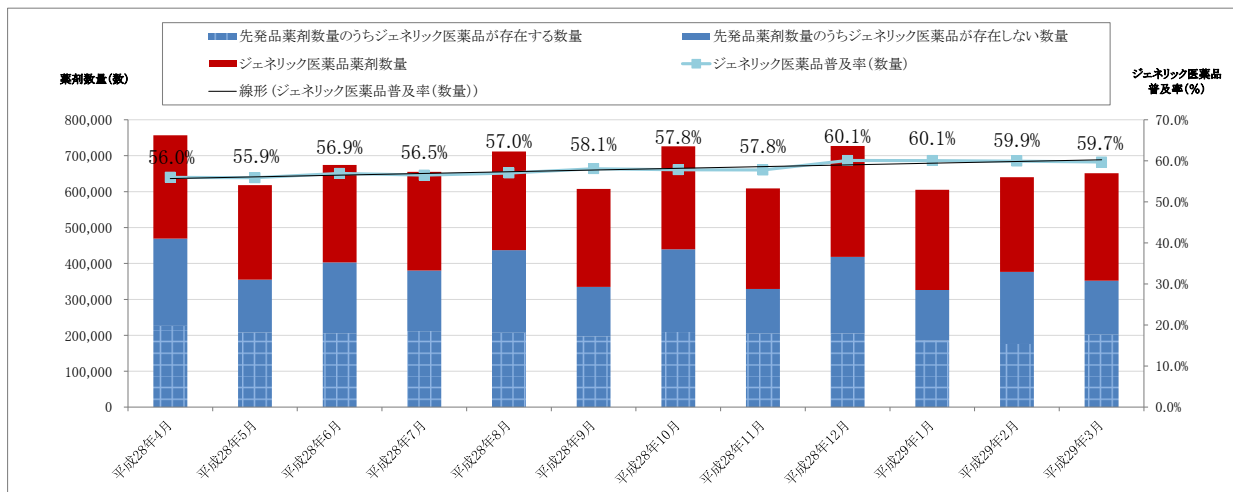
同一の病気で1カ月間に3つ以上の医療機関に受診している重複受診者が44人、1カ月間に12回以上医療機関に受診している人が110人、1カ月間に同系のお薬が複数の医療機関で処方されている人が114人、危険なお薬の組合せが発生している人が234人います。適正な受診行動にするための対策が必要です。

重複受診者	44人
頻回受診者	110人
重複服薬者	114人
薬剤併用禁忌対象者	234人

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分) 期間中の実人数

#### ⑥ジェネリック医薬品普及率

数量ベースのジェネリック医薬品普及率は平成29年度3月診療分で59.7%です。



### (3) 分析結果から導いた課題

分析結果より導いた課題を以下に示します。この課題から本町が実施する事業を5～6ページに示します。

#### ① 特定健康診査・特定保健指導を基盤とする生活習慣病予防

特定健康診査受診率は、平成28年度の目標値は60.0%で、結果は33.8%でした。特定保健指導は、平成28年度の実施目標値は60.0%で、結果は53.2%でした。いずれも40歳・50歳代の受診率が低いことが課題です。

#### ② 生活習慣病の重篤化リスクのある患者への重症化予防

患者数が多く、医療費が高い疾病は、高血圧やその他内分泌（高脂血症等）、腎不全（糖尿病が悪化し、発症する合併症）などの生活習慣病が多い状況です。これらの疾病は、重篤化する前にご本人が定期的に通院し、服薬や食事管理等をすることで重症化することを防ぎ、病気をコントロールすることが肝要です。

#### ③ 受診行動適正化

受診行動が適切ではない重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在します。適正な受診行動を促すことが必要です。

#### ④ ジェネリック医薬品普及率の向上

高根沢町におけるジェネリック医薬品普及率は、数量ベースで59.7%（平成29年3月診療分）でした。前年の平成28年3月診療分時点では48.8%であり、10.9%の向上が見られました。国では、平成32年度末までの早い段階で80.0%以上にすることを目標としており、なお一層の普及率向上に努めることが必要です。

### 3. 実施事業内容

事業内容は以下のとおりとします。詳細な進め方については、データヘルス計画本編に記載します。

#### 1 特定健康診査未受診者対策

→ 被保険者の健康づくりの契機と生活習慣病予防

特定健診を受診していない人に、生活習慣病の予防の観点から受診するように受診勧奨通知を行います。



#### 2 特定保健指導事業

→ 被保険者の生活習慣病予防

特定健診の結果から特定保健指導対象者を特定し、検査値が改善されるように、高根沢町特定健康診査実施計画に基づいた指導を行います。



#### 3 生活習慣病予防事業

→ 被保険者の生活習慣病改善

疾病別医療費統計から、高年層の循環器系の疾患や新生物の占める割合が高いため、若年層からの生活習慣病予防を行います。



#### 4 ジェネリック医薬品差額通知事業

→ ジェネリック医薬品の利用促進

先発医薬品を服用されている対象者へジェネリック医薬品への切替えを促す通知を送付し、ジェネリック医薬品の利用を促進し、医療費の削減を図ります。

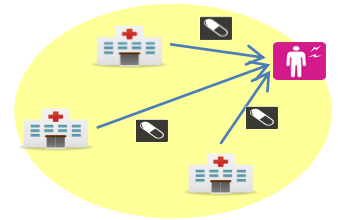


5

## 受診行動適正化指導事業

→ 重複・頻回受診者の受診行動の適正化を図る

医療機関への過度な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について指導します。併せて、お薬手帳の活用啓発を行います。

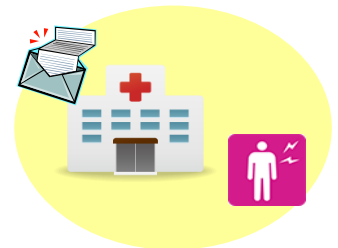


6

## 糖尿病性腎症重症化予防事業

→ 被保険者の糖尿病重症化予防

特定健診異常値者に対して医療機関への受診勧奨を行います。特に、高血糖かつ尿蛋白が陽性の被保険者は、受診の有無の確認を行います。



7

## 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

→ 治療中断者へ受診勧奨を行い、重症化を防ぐ

生活習慣病の治療を受けていたにもかかわらず、一定期間、医療機関受診が確認できず、治療を中断している可能性のある対象者を特定し、通知で受診勧奨を行います。

